

大鹿HeatBeat

第 8 回 ～ 大鹿の人々 ～

紙谷 正 さん (84)



春に一步一步近づく毎日 畑や樹木の手入れに余念がありません。紙谷さんの桑畑では桑の剪定を行っています。一番良質の糸が生まれるとされる「春蚕」をはぐくむやわらかい桑の葉は冬の間の「手入れ」にかかっています。また古株はその根っ子から新たなカブを作れるよう手入れをしてあげるのもこの季節。忙しい農繁期に向け段取りを整えます。半永久的に命をつなぐ桑の生命力と紙谷さんと桑との対話力により桑畑が守られていると感じます。新芽は山の人や友達(鹿や猿)にと

っても大変なご馳走になります。食外を防ぐための防護柵作りも現代、新たに加わった冬の仕事でもあります

↓紙谷さんお気に入りの休憩スポット年間通して屋根の向こうに豊かな原風景が楽しめる



大磧神社御柱祭(たいせきじんじやおんぼしらすい) 参加者募集!

今年は御柱祭の年 御柱際は飯田下伊那地方それぞれの地区によって、伝統や風習に特色があり、この地域に生きてきた人々が平安を祈るための行事です。大鹿村の定期歌舞伎講演会会場でお馴染みの大磧神社では4月10日に行われます。春の芽吹き前の一番山の「気」を感じる頃、大鹿村の伝統に触れながら季節を楽しんでみませんか。日程は下記の通りです。

- 日時日程 4月10日(土) 午前7時30分大磧神社集合(雨天顺延)
- ・ 午前 里曳き(さとびき) 御柱を引き、大磧神社まで運びます。
- ※ 昼食および藤づる、祝手拭い(伝統に則りまめしほり)をご持参ください
- ・ 午後 建立、投げ餅、祝宴 (この間に余興があります)

少子高齢化で御柱の引き手が足りないのが現状です。村外の方にもぜひ参加していただき盛大で楽しい祭となるようご都合に合わせてご参加いただければと思います。尚、御柱祭というと男性中心の激しい祭のイメージをもたれる方もいらっしゃると思いますがご心配なく、女性でも安心してご参加いただけます。右馬允のご予約も承っております。お早めにお問い合わせください。



思わぬ大雪で二月一日夜から翌日午後まで全村停電となりました。先日の暖かきでほころびかけていた庭の福寿草の蕾も十五センチほど積もった雪の下で外界との再会を楽しみにしているに違いありません。まだまだ朝晩の冷え込みは激しい毎日ですが日中の日差しのおかげで春の訪れが近いことを感じています。



～ 霜月祭ツアー 行って参りました! ～

12月に右馬允だよりにて「霜月祭ツアー」へのお声がけをさせていただいたところ12月15日正八幡神社にご予約いただきました。厄除けの「湯たての神事」その熱く煮え立った湯を浴びると1年間健康でいられるとされています。参加者の皆さんの一年間の健康は保障されたと確信できるいい濡れっぷりでした。ご利用いただきありがとうございました。歴史ある霜月祭ですが後継者不足のため今までは10数社の神社を1ヶ月ほどかけて行っていた神事を来年度からは半分くらいに減らすそうです。来年度もツアー参加者を募集します。ご利用ください。



冬の間はその昔、祖先が何を生業として、何を重んじて生きてきたかということの断片を感じ取れる祭事、神事が目白押しです。農閑期は「農繁期の日常」から抜け出し「非日常(神の領域)」に足を踏み入れることによって日常の中で汚れてしまった心身の清浄化を図ります。祈りをささげ、また神と共になることによって日常で起きてしまったわだかまりを消し去り、山の神、水の神、陽の神に感謝し、自然界の一部である人間のあり方(良識)を取り戻そうとする人々の祈りを感じることができます。貨幣社会になって、自然界からの感受性は希薄になっている今だからこそ必要な時間なのではと思います。大鹿村にも古くから伝わる日取りが決まっている行事があります来年のお出かけのご参考にしてみてください。

- 1月7日上蔵(わぞ) 福德寺の「おこもり」PM20:00～翌AM8:00この日にしか拝めないお薬師様と阿弥陀様
- 1月14日「どんど焼き」(各地) PM19:00宮中行事の模写正月飾りなどを焼き1年の健康を祈願正月気分を追い払う

七年に一度の祭事が行われる2010年寅年です。飯田の桜並木を上っていくと大宮諏訪大社があります。この神社の大祭「お練りまつり」(おねりまつり)が3月26日～28日まで3日間の日程で行われます。「お練りまつり」とは大名行列や東野獅子をはじめ、飯田の各町内や近郷から獅子舞や囃子、踊りなど様々な芸能が飯田の町筋をそろそろと練り歩くことからこのように呼ばれるようになりました。民族芸能の宝庫といわれるこの地域最大の祭り、民俗芸能の「ガラ公演」といってもいいでしょう。

この祭は式年造営(御柱祭)にあわせて行われます。日本神話に登場する建御名方命(たけみなかたのみこと)とその妃は出雲神社に登場する神で出雲から信濃に渡って国土を開拓した神とされています。諏訪神社を仰ぐ信濃国にあたってはその創始は古いとされています。飯田を生きた人々のパワーを感じる事ができそうです。

★★ Pちゃん ★★

公ちゃんの息子が11月10日に誕生して3ヶ月を迎えようとしています。生粋の黒しばの子供ですが真白です。まれにアルビノ種が生まれるようです。目が生まれつき悪いのですが元気に走り回ってやんちゃ盛りを迎えています。公へのちょっかひも度々。散歩時には「もういい加減にして!」という叫びが聞こえてきそうです。

名前は私の中では「ペパン」フランス語で種の意。頭文字をとってPちゃんに落ち着いておりますが正介さんは「白」と呼びます。それぞれ好きな名前で呼んでいます。



2010

如月

前志満 ぐみ
第 11 号